

置かれしとてさういふ代清人は凡の大きとて月を翫
うけり余次郎全月鼓へ帰して後孫を近づけい
汝が事終るる死とて一生の事偏る汝は命
の親なりとて我が目の片方下れけりといはし

源義家公匡房卿より軍法之奥に秘を付す事

往古源八幡太郎義家武敏進討の勅命を蒙り奥
州より下向せしと彼を秘教なり我命を全うして
帰洛の事も不定なりと思ひ一は風聞より年内申

秘教を秘すと思ひて年内の打ち宴會を行ひし
透烏帽子に酒を以て服指斗して法前近く思ひて
内服を申しし武員を帯て路傍に書くも乃はず
御相違なき秘教なりと謂ふべしとて其末に
右江匡房卿之を蒙り此強して笑はしなり是
強ちに則の者なりと謂ふべしとて例へば俊の者なり其の者
は武に違ひしとて文は開けしとて詩を笑ひしと
とて其の後義家道にけりを帝等より法りしと
さうて義家おきしとて秘に秘に笑ふ人々は笑は